

1. 単元名 限りある水資源とわたしたち

2. 単元の目標

- ・ 日常の生活の中で私たちが水を大量に使用・消費していることを見たり聞いたりして理解する。
(知識・技能)
- ・ 日常生活で使用している水がどのようにして提供されているのか、調べたことともに考えて、適切に表現する。
(思考・判断・表現)
- ・ 限りある水資源を有効的にかつ無駄なく今後も使用していくために必要な手立てについて意欲的に調べたり考えたりするとともに、大切に使いことうとする態度をもつ。
(主体的に学習に取り組む態度)、

3. 単元について

(1) 教材観

私たちが暮らす日本は、水資源に恵まれた国で安心・安全な水を得ることができる恵まれた国である。その恩恵を受け、私たちは日常生活の中で水を当たり前のように大量消費している。また国内外で採集された水が低価格で提供されていることから、水に対するありがたみを感じることは少ない。一方で世界では安心・安全な水を確保できない、水自体を確保することができない国々もある。世界的には水不足が問題視されており、今後の気候変動の変化に伴い、より一層危惧されている課題である。誰もが安心・安全な水が利用できるシステムの構築・誰もが水資源を享受できる公平性をいかに保証できるか、考える必要があると考えた。

(2) 生徒観

社会科の授業で、世界各地の環境問題や公衆衛生について学んできた。特にアフリカ州の学習では、SDGsに関連した内容で、「安全な水とトイレを世界中に」の項目を重点的に取り組んできた。日本とアフリカにおける水資源に対する考え方やとらえ方の違いをインターネットで調べたり、資料を見たりして理解を深めることができた。理解できている。一方で資料から正しく情報を読み取り、読み取った情報を分析したり必要な情報を選んだりすることが苦手である。また話し合う活動についても、内容をまとめ自分の言葉で伝える力や読み取った資料やデータを分析し分かりやすく伝える力は、経験が少ないため、まだまだ身につけていないところがある。

(3) 指導観

第一次では、水をより身近なもの・自分事としてとらえるために、水の飲み比べを行う。様々な水を比較することを通じて、日常生活で使用している水がどのようにして提供されているのか調べさせる。第二次では、ペットボトル水が安価で提供されている理由について考えさせる。また

人々がなぜ水を買うのか、その理由や買う人の心情について考えさせる。第三次では、持続可能な水資源の使い方について考えさせる。ここでは、過剰な水の採集や大量生産・大量消費を続けることで、自然環境に負荷がかかっている例を紹介する。さらに水問題に付随して生じるペットボトルのゴミ問題や、バーチャル水、フードマイレージなど様々な課題も同時に対応しなければならないことを伝える。第4次では、世界の人々が安心・安全な水を享受できる枠組みや取り組みについて考えさせる。またその問題に自分たちが具体的にどのように取り組んでいくべきか、話し合いを行う。

(4) ESDとの関連

○本学習で働かせるESDの視点(見方・考え方)

有限性・・・資源には限りがあり、このまま同じように使い続けると、環境に大きな負担がかかること。

公平性・・・先進国の豊かさを支えているのは、貧困国であり、資源の分配が十分でないこと

責任性・・・限りある資源を無駄なく、有効に活用できる行動をとることが何よりも大切であること。

○本学習で育てたいESDの資質・能力

コミュニケーションを行う力

⇒資源の適正な再分配・持続可能な資源活用方法について、対話を通じて自分の考えをもつ。

長期的思考力

⇒今の時代を生きる世代が、このまま大量生産・大量消費の生活様式を続けていくと、将来世代の資源を使い切ってしまう危険性があることを考える。

批判的に考える力(クリティカル・シンキング)

⇒環境に配慮した消費行動ができてきているか、自分の生活を見つめ直す。

○本学習で変容を促すESDの価値観

・世代間の公正

⇒限りある水資源を大量消費し続けることは、将来世代の資源を奪うことになる。

・自然環境や生態保全を重視する

⇒環境に配慮した生産を続けていかないと、環境に負荷をかけてしまい、環境に配慮した生産とは言えない。

・幸福感を大切にする

⇒大量生産・大量消費することが、本当の豊かさではない。

・達成が期待されるSDGs

3、「すべての人に健康と福祉を」

6、「安全な水とトイレを世界中に」

12、「つくる責任・つかう責任」

4. 単元の評価規準

| ア 知識・技能 | イ 思考・判断・表現 | ウ 主体的に学習に取り組む態度 |
|---|--|---|
| <p>①日常の生活の中で私たちが水を大量に使用・消費していることを見たり聞いたりして理解する。</p> <p>②水問題を自分事としてとらえることができる。</p> | <p>①日常生活で使用している水がどのようにして提供されているのか、調べたことともに考え、適切に表現している。</p> <p>②水資源の公平な分配について調べたことをもとに、よりよい生活のあり方について、自分の考えを明確にする。</p> | <p>① 限りある水資源に関心をもち、意欲的に調べたり考えたりしている。</p> <p>② 限りある水資源を有効的にかつ無駄なく今後も使用していくために必要な手立てについて意欲的に調べたり考えたりするとともに、大切に使う態度を表している。</p> |

5. 単元の指導計画（全10時間）

| 次 | ○主な学習活動 ・生徒の反応 | 学習への支援（・） | 評価（△） 備考（・） |
|---|--|--|-------------------|
| 1 | <p>○様々な水の飲み比べを行い、味・価格・原産地など気付いたことをまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水道水が意外とおいしい。 ・外国産のペットボトル水が安い。 ・水ってそもそも買うものなの？ | <ul style="list-style-type: none"> ・水道水やミネラルウォーターの違いを比較させる。 ・日本では様々な種類の水が大量に提供されていることに気付かせる。 | △イ1 |
| 2 | <p>○市場で販売されているミネラル水は、どうして安い価格で提供することができるか調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水はたくさんあるから。 ・水自体の価値が低いから、安い値段で販売できる。 ・日本は山や川が多く、水資源が豊かなので、水は安くで買える。 | <ul style="list-style-type: none"> ・水を購入する人の心情について考えさせ、話し合いをする。 ・人が水を買う理由(買いたくなる理由)を考えさせる。 | △ア1 △イ1 |
| 3 | <p>○このまま水を大量消費し続けると、どんなことが起こりうるだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界で水の奪い合いが起きる。 ・水資源が枯渇する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・限りある水資源を枯渇させないために、必要な手立てや対応策を考えさせる。 ・水問題だけではなく、ペットボト | △ア2 △ウ1 △ウ2 |

| | | | |
|---|--|---|----------------------------|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・水を確保できる豊かな国と、できない国との差が広がる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ルのゴミ問題や、バーチャル水、フードマイレージなど様々な課題が付随していることを気付かせる。 ・過剰な水の採集や大量生産・大量消費を続けることで、自然環境に負荷がかかっている例を紹介する。 ・自分たちにできる環境に配慮した具体的な例を紹介する。 <p>(例)：マイボトル(水筒)の使用推奨</p> | |
| 4 | <p>○全ての人に、安全・安心な水を提供できるようにするには、どのような対策が必要だろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経済的に豊かな国が資金や技術援助を行う。 ・全世界が協力して、適正価格で水を販売する枠組みやルールを作る。 ・限りある水資源を有効的に使うための教育支援をするべきだ。 | <ul style="list-style-type: none"> ・その問題に自分たちが具体的にどのように取り組んでいくべきか、話し合いを行う。 ・企業が行っている環境保全の取り組みを紹介する。 | <p>△ア2 △イ2 △ウ2</p> |